

「トキッ子くらぶ」に協賛

市商連 商店街の活性化で

コンサルティングのコーポレーション（長岡市北陽1）が運営している子育て世帯優遇カード「トキッ子くらぶ」に長岡市商店街振興組合連合会が協賛する。同カードは県内に住む12歳以下の子供を持つ家庭を会員対象として、協賛店からの特典やサービスを受けられるもので、今月から

本格的に始動した。同連合会には7団体約2001300店舗が加盟している。高見久事務局長は「商店街の販促の事業として取り組むもので、子育て支援ということでお客様のイメージアップにもつながる。川西地区との差別化を図りたい」と協賛を決めた。通常、協賛店の協賛費

は年間1店舗1万5000円が必要だが、同連合会は団体加入したため、商店街の各店舗は協賛費の額が軽減。同連合会は3月から約1カ月間、各店舗に呼び掛け、4日までに11店舗が加入した。高見事務局長は「今後会員の利用があつて口コミで広がれば、協賛店の数は増えるはず。最低で

も1000店舗近くは協賛してもらいたい」と話している。同社によると、3月末現在の会員数は約1300人、協賛店数は約1800店舗。今後、会員数は県内の子育て世帯約16万世帯の1割に当たる1万6000世帯、協賛店数は約1000店舗を目指すという。